漢方医薬新聞

発行所 ㈱漢方医薬新聞社 〒135-0047 東京都江東区富岡1-11-5-203 電話03-3630-6731 FAX 03-3643-3431

次号予告

第7回日本臨床中医薬学会開催予告
金匱会診療所50周年記念講演会、グルコサミン研究会・第2回研修会詳報、漢方関連講座日程、本を読む、漢方ニュース&レーダー、薬膳・食養、統合医療新聞（日本末病システム学会大会、日本統合医療学会、日本胎盤臨床研究会）ほか

――連載――

《新連載》『百人一首ものがたり』
絵と文　佐賀純一　一番　天智天皇
『生薬春秋』　伊藤敏雄　第82回
『明治政府はなぜ漢方医学を排斥したのか?』　油井富雄　第30回
インタビュー『帯津良一　臨床医学の世界』③

●漢方ニュース&レーダー●

東邦大学医学部大森祭公開東洋医学講座

【日時】11月3日(土)【場所】東邦大学医学部（大森キャンパス）〒143-8540 大田区大森西6-11-1【講演】13時15分～「こんな病気が漢方に効く」三浦於菟（東邦大学医学部教授）、14時半～「アロマテラピーとは何か」鳥居鎮夫（東邦大学名誉教授）【実演】15時～「アロマテラピー香りの体感講座」宮川明子（マザーズオフィス）【落語】15時40分～「疝気の虫」入船亭扇好【問合せ】実行委員会TEL03-3762-4151（内2256）

第27回漢方学術大会

【日時】11月18日(日)9時50分～17時30分【場所】共立薬科大学2号館地下B55号教室（港区芝公園）【主催】日本漢方協会（飯島弘会長）【実行委員長】小根山隆祥【特別講演】①正倉院の薬物（鳥越泰義・常盤植物科学研究所）②黄蓮解毒湯と升麻葛根湯の合法による治験（斉藤輝夫・斉藤医院院長）【一般演題】漢方と中医薬の薬物量の差の考察（樋口泰光）、『啓迪集』に学ぶ柴胡の運用法（庄司良文）、カゼに対するお粗末な一治験例（庄子昇）、柴苓六君子湯の治験例（間瀬信行）、手当ての効果（岸本直子）ほか【事務局】日本漢方協会事務局（新宿区西新宿8-4-17-401 TEL03-3369-7512 FAX03-3363-6584）

日本漢方交流会全国学術総会第40回東京大会

【日時】11月24日(土)（13時～17時15分）・25日(日)（10時20分～15時50分、総会9時10分～10時10分）【場所】共立薬科大学2号館255号講義室（東京都港区芝公園1-5-30）【スローガン】明日の医薬と食養の追求【テーマ】生活習慣病と漢方の運用【大会委員長】落合富雄（日中医薬研究会）◆プログラム◆24日(日)【開会】13時～・木村孟淳（日本漢方交流会会長）【会員発表】13時15分～14時45分①糖尿病の症例と現代の糖尿病（太田雅俊）②生活習慣病について考える（下本順子）③喘息の漢方による自己管理「金匱要略」「傷寒論」に視られる呼吸因と治法（飯間信彦）【事務

2007年度

【開催日】11時～17時【会時～17時ホテル（〒980 青葉区中央、徒歩5分）【参2千円【基礎の進め方とそ（猪股宗男）【器疾患の店頭

本を読む

宋以前傷寒論考

岡田研吉・牧角和宏・小高修司 著　森立之研究会 編

本書は「東静漢方」と呼ばれる漢方の殿堂・国立東静病院で漢方療法を学び、北京中医薬大学に留学した岡田研吉氏と、国立がんセンターなどの最先端のがん治療から、中医学による医療に大転回した小高修司氏、学生時代より北里研究所の矢数道明氏ほか多くの漢方医の指導を受け、九州大学第一内科入局のかたわら、原敬一郎氏のもとで煎じ薬主体の漢方外来を15年間担当した牧角和宏氏の3氏が、ともに書き上げ、〝森立之研究会〟が編集した大著。

本書の編集者は「編著者らの古典研究にかける情熱は真に敬服に値する」と述べる。同研究会の岩井祐泉氏は、古典研究の意義について、鍼灸専門学校の教え子のレポートを本書の中で紹介している。そこでは「医聖と呼ばれた張仲景の『傷寒論』はSARSの治療でも大いに役に立ったが、もっと古い『傷寒論』には、植物毒や動物毒を使った強い処方もどんどん出てくる〟という先生の言葉に非常に興味がわきました」と記され、もともと研究していたホメオパシーと『太平聖恵方』とを結びつけた考察がなされていた。

森立之は、幕末の医学における考証学の一大拠点「江戸医学館」において偉業を成し遂げた人物の一人。彼が著した『傷寒論攷注』を読む会として発足したのが森立之研究会で、ここから本書は生み出された。

本書の眼目は、これまで常識とされてきた『傷寒論』の解釈を根底から覆す数々の新見解が示されているという点だ。浅学の一記者としては、鱗のついた目すら持ち合わせないのは歯がゆいが、古典研究に大いなる醍醐味があることは、本書から十二分に伝わってくる。本書には『宋板傷寒論』巻一～十全文のCDロムが付録されている。

12月15日(土)18時半から東京医科歯科大で開かれる森立之研究会の定例会では、茨城大の真柳誠氏が講義するという。定例会はオープン参加。「真柳先生来る!」と記されたこの定例会に私も参加してみようと思う。（田）

新刊
A5判並製　610頁
定価　8400円税込
発行　東洋学術出版社